

教育研究所だより

No.215号 令和元年9月26日(木) 【発行者】守山市教育研究所 所長 西川 典子
守山市勝部三丁目9番1号(守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター 3・4階)
TEL:077-583-4217 FAX:077-583-4237
E-mail:kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp
HP:http://www.city.moriyama.lg.jp/kyoikukenkyu_index.html

地域一体となった外来水草除去活動について

NPO 法人国際ボランティア学生協会(IVUSA) 中村 俊哉



写真. 新守山川河口での除去作業

オオバナミズキンバイ(以下:オオバナ)は、2009年に守山市赤野井湾で確認された南米原産の外来水草で、2016年には最大生育面積約30万㎡にもなる強い繁殖力を持ち、水質悪化や航行障害、魚の産卵場所を覆うなどの被害も発生させています。

「オオバナが赤野井湾で大繁殖している。除去するためのボランティアが欲しい。」2013年2月の守山市川づくりフォーラムに参加し、基調講演を聞いたことが、NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)がオオバナ除去活動に取り組むきっかけでした。

翌月に守山市クリーン大作戦でオオバナ除去作業に参加し、船上から水草を引き揚げる作業は重労働で、従事していたのは高齢者を中心とした漁師やNPOの方々である事に衝撃を受け、「学生の手で琵琶湖を守りたい」とオオバナ除去活動への取組みを決意しました。

2013年6月には、NPO法人びわこ豊穰の郷が中心となり、守山市、玉津小津漁業協同組合、住民、IVUSA 参画による「オオバナ除去大作戦プロジェクト」が結成され、除去活動及び啓発活動が始まりました。

オオバナ除去の経験が殆どなかったため、定期的集まり、繁殖調査、学習会、除去方法の検討を行いました。水草は水分を含むため、乾燥作業や処分場までの運搬、焼却処分など、調査から処分まで関係機関と連携しながら取り組む必要があり、試行錯誤の日々が続きました。

初年度は計5回の除去活動を実施し、延べ261名が参加しました。また積極的な除去や啓発活動を実施したことで、2014年にオオバナが特定外来生物に認定され、琵琶湖外来水生植物対策協議会設立の動きに繋がりました。2019年には赤野井湾のオオバナは縮減に近い状態であり、オオバナ除去大作戦プロジェクトの継続した活動が赤野井湾再生に向けての大きな成果となっています。

IVUSAは、日本各地で災害救援や環境保護活動で培ってきたノウハウを活かして、現場作業計画や人員、装備、安全管理や、学生ならではのビラの作成やSNS等の情報発信も担いました。IVUSAにとって、守山市のように行政や漁師、NPO、住民などが互いの強みを活かし合い、同じ目的に向かって活動することは新鮮であり、今後の活動を展開するうえで大きな学びになりました。

オオバナは琵琶湖北部や京都府鴨川、茨城県霞ヶ浦でも確認され、日本全国への問題となりつつあります。IVUSAは、守山市でオオバナ対策の成功を一緒に実現した一員として、守山市で培った成果や課題を日本全国へ広め、オオバナの完全除去を目指していきます。

研修講座の報告(抜粋)です。

<p>【授業改善研修講座】 子どもの音楽表現を高める 小学校音楽科の指導</p> <p>【講師】 日野町立桜谷小学校 校長 北崎 あゆみ 氏</p>	<p>開催日</p>	<p>8月27日(火)</p>	<p>会場</p>	<p>守山市生涯学習・教育支援センター 大会議室</p> 
<p>【教育相談研修講座】 教職員の教育相談的な関わり(初級編・中級編)</p> <p>【講師】 臨床心理士 鈴木 葉子 氏</p>	<p>開催日</p>	<p>7月24日(水) 8月20日(火)</p>	<p>会場</p>	<p>守山市生涯学習・教育支援センター 大会議室</p>  <p>・相手の話を聴こうと意識していても、頭の中では自分の設定した着地点にどうもっていかを考えていたり、どういう言葉を使えばよいかに気が向いたりしている自分に気づいた。少しでも本当の「傾聴」に近づきたい。</p> <p>・他校種の先生方と事例検討することで、子どもの支援について具体的に考えることができました。</p>
<p>【ICT・プログラミング教育研修講座】 「メッシュ」で遊ぼう!</p> <p>【講師】 滋賀県総合教育センター 研修指導主事 小林 大輔 氏</p>	<p>開催日</p>	<p>8月21日(水)</p>	<p>会場</p>	<p>吉身小学校 4階 多目的室</p>  <p>・来年度からの実施に向けて前向きに取り組めそうだ。「メッシュ」は簡単に扱うことができ、活用できそうなので導入されたら使ってみたい。</p> <p>・プログラムがどのようなものかわからなかったが今回の研修を終えて、とても楽しく学びになると感じた。子どもたちにぜひ伝えたい。</p>
<p>【幼児教育研修講座】 絵本はこころのミルク</p> <p>【講師】 守山市立図書館 参与 三田村 悦子 氏</p>	<p>開催日</p>	<p>7月30日(火)</p>	<p>会場</p>	<p>守山市生涯学習・教育支援センター 大会議室</p>  <p>・幼児期の絵本の読み聞かせの大切さを改めて教えていただいた。具体的な絵本の題名を出して下さったり、実際に読んでくださったりしたので、より分かりやすく聞かせていただいた。</p> <p>・普段何気なく読んでいる絵本だったが、場の作り方や読み方など丁寧に教えてくださったことで、明日の保育からすぐに活かせる研修となった。</p>
<p>【小中学校外国語教育研修講座】 「Let's Try!」「We Can!」のデジタル教材を使った模擬授業</p> <p>【講師】 インタラック アーロン・ロマノスキー 氏</p>	<p>開催日</p>	<p>8月6日(火)</p>	<p>会場</p>	<p>守山市生涯学習・教育支援センター 大会議室</p>  <p>・英語の授業は専科の先生にまかせっきりだったので、よい経験になった。自身の英語力を高めないといけないことに気づいた。</p> <p>・子どもが日本語で答えた時に、“English, please.”と言ってしまうことがあったが、教師が英語に直して聞かせることも大事だとわかった。</p>
<p>【郷土守山に学ぶ研修講座】 近江妙蓮 その不可思議な世界へ</p> <p>【講師】 近江妙蓮公園ボランティア 会員 南 まさ枝 氏</p>	<p>開催日</p>	<p>8月1日(木)</p>	<p>会場</p>	<p>近江妙蓮公園</p>  <p>・長年行きたかった場所に参加し、説明を受けてよかった。日ごろお世話される皆さまのご苦勞を思うと多くの人に近江妙蓮のことを知ってもらいたい。</p> <p>・素晴らしい企画でした。説明も詳細で十分理解できた。皆さん本当に献身的にお世話してくださり、よい記憶として残すことができました。</p>

(※研修講座の対象者は原則教職員。郷土守山に学ぶ研修講座は一般市民も含む。)